

広報市民リポーターだより
第8回

大館の2月は
夢の季節

リポーター 小笠原 渉(長木川南)

2階建てバス
覚えてますか

前回私は、二階建てバスのことについてリポートしました。

後日、あの事業を主催した「大館まちづくり協議会」(私も所属しています)の伊藤会長から「市民の皆さんのおかげで大成功だったので、紙面を借りてお礼を言っほしい」と言われま

した。皆さん本当にありがとうございました。ございました。

昨年の二階建てバス運行は大成功でしたが、まちづくり協議会では、大館の街に、定期バスとして二階建てバスを走らせることを目指しています。お盆に二階建てバスを見たとき、乗ったとき、皆さんはどう感じましたか。私は今でも、あのときの胸の高鳴りが心に残っています。

まちづくり協議会では、その実現に向けて努力を続けています。皆さんにもご協力をお願いします。その節は、よろしく願います。

シンポジウム
知ってますか

次に、まちづくり協議会のもう一つの大きな事業、「まちづくり二十一世紀計画シンポジウム」に触れてみたいと思います。

この事業は、二十一世紀へ飛躍するための大館のまちづくりを、市民みんなで考えようと、昭和六十一年に始めたものです。昨年の十一月二十三日、四回目のシンポジウムを中央公民館で開催しました。

当日は、「県北空港実現に向けて」、「観光大館になりえるか」、「我が街の近代化」に焦点を当て、約三百人の参加者(七万市民中三百人ですから、いかに少ないと感じられました)が、大館を良くするために何が出来るのか、何をしなければならぬのかについて熱心にディスカッションしました。

今年の秋にも開催する予定ですので、市民の皆さん、ぜひ参加してください。大館を良くするための方策を、みんなで考えましょう。

鷹は空を
飛べるでしょうか

鷹の地に、県北空港を建設する計画があるのをご存じのこと

と思います。

皆さんは、出来ると思いますか。私は、県北に空港を造るといふことは、大変なことじゃないかなあと思います。事実、シンポジウムでも実現の難しさが語られていました。

しかし、難しいからといってあきらめてしまつて良いのでしょうか。難しくても、みんな挑戦してみませんか。

目標に向つて進んでいる姿ほど美しいものはありません。美しい大館・明日の大館発展のために、みんなで頑張りましょう。鷹が空を飛べるように、私たちが育てて行きましょう。

最後に、私たちと私たちの街大館の将来が、素晴らしいものであることを祈つて、今回のリポートを終わりにしたいと思います。また会いましょう。

“夢”創りませんか

大館まちづくり協議会では、いっしょに“夢のある街大館”を創る人を募集しています。皆さん、ぜひ参加してください。会費は、年1,000円です。

申し込み及び問い合わせ
大館まちづくり協議会事務局
☎49-5140



第4回まちづくり21世紀計画シンポジウム

いよいよ二月、冬の厳しさも春の足音を感じさせてくれる季節です。そしてこの季節が、何か大館の今を象徴しているように思えてしまうのは、私だけでしょうか。

今大館では、この街を良くしようという取り組みが各所でなされています。自分たちが住んでいる街・大館を良くしようという

のところがそれは、どんな木や花や草になるのか、どんな実を結ぶのか、まだだれにも分からない状態、この大館という若い芽は、今一生懸命伸びようとしている段階とも言えるのではないのでしょうか。

それらの取り組みは、市民の皆さんの協力がなくては成功しません。協力してくれるいろいろな人をお待ちしています。

馬鹿になる人
自分から積極的に、行事や事業を運営する人。

鳥になる人
行事や事業に参加して、運営している人に声をかけて応援する人。

神になる人
忙がしくて行事や事業へ参加できないけれど、心の中で声援を送る人。

私たち一人ひとりの「馬鹿」「鳥」「神」が、大館の明日を創ることになります。あなたは、馬鹿ですか、鳥ですか、神ですか。たまには、馬鹿になつてみませんか。